

「里山広葉樹林の活用と再生に関する現地検討会」開催のご案内

ポイント

- ・里山広葉樹林の活用と再生に関する研究成果を紹介します。
- ・10月10日（木）午後、11日（金）午前、岡山県新見市のJA阿新会館3階ホールおよび釜谷国有林で開催します。

森林総合研究所関西支所は、林野庁近畿中国森林管理局と技術開発・普及等に関する連携協力協定を締結しており、その取組の一環として、平成25年度より、民有林関係者を対象とした現地検討会を開催しています。今年度は、10月10～11日に、里山広葉樹林の活用と再生をテーマとして岡山県新見市内で開催します。

近畿中国地方における代表的な里山の森林であるコナラなどの薪炭林は、戦後の燃料革命によって石油などの化石燃料が主流となる中、ほとんどが利用されず放置されるようになりました。その結果、かつての薪炭林の多くは、幹の直径が太く、樹高も高い森林に変化しています。

これは、資源利用の観点からみると、薪やバイオマス発電用のチップといった燃料、しいたけ原木としての利用だけではなく、製材として利用できるサイズに育ってきているといえます。

一方、ナラ枯れの病原菌を媒介している「カシノナガキクイムシ」は小径木よりも大径木を好み、枯死した大径木からは数万匹もの成虫が飛び出すことから、大径木化したコナラ等の里山広葉樹を伐採し若い森林に戻すことが、ナラ枯れ被害対策の観点からも重要であると考えられています。

また、外国産広葉樹材の入手が困難な状況になってきており、代替する木材の確保が急務となっています。「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」（通称「クリーンウッド法」）の施行もあり、合法性が確認できる国産広葉樹材への期待が高まっています。

コナラなどの里山広葉樹材の活用が進めば、これらの課題に効果的に対応することができます。しかし、近畿中国地方では、里山広葉樹材の製材利用はほとんど行われておらず、流通もほとんどないことから、採算性に関する情報が乏しく、また、森林の多面的な機能の発揮や持続可能な利用のためには、伐採後に森林を確実に再生させる必要がありますが、高齢のコナラ属の萌芽更新には未知の部分があり、効果的・効率的な森林の再生方法の検討も必要です。

これらを背景として、森林総合研究所関西支所では、平成28年度～30年度にプロジェクト研究「広葉樹も多い中山間地で未利用資源をむだなく循環利用するための方策の提案」に取り組みました。また、近畿中国森林管理局では、平成29年度から「里山広葉樹林活用・再生プロジェクト」に取り組んでいます。

今回の現地検討会では、近畿中国地方における里山広葉樹林の活用と再生に向けて、これらプロジェクトの成果とともに、里山広葉樹材の需要動向や管内自治体における取組を共有し、課題や方策について意見交換を行います。

【テ　マ】 里山広葉樹林の活用と再生

【主　催】 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所関西支所
林野庁 近畿中国森林管理局

【開催日時】

<第1部> 令和元年10月10日（木）13時30分～17時10分

■受付時間：13時00分～

<第2部> 令和元年10月11日(金) 9時45分～11時15分
■受付時間：8時10分～8時20分(マイクロバスで会場まで移動するため厳守)

【会場】

<第1部> JA阿新会館3階ホール(岡山県新見市高尾2423)
■集合場所：会場前(JR伯備線新見駅から徒歩3分)
<第2部> 釜谷国有林597林班(新見市)
■集合場所：新見郵便局前(岡山県新見市高尾2485-11)の道路挟んだ向かい側

【対象】

府県・市町村および府県森林・林業研究機関、森林整備センター、森林経営管理法第36条第2項の規程により公表された民間事業者等、林野庁・森林総合研究所の職員等、全体で70名程度

【プログラム】

<第1部(10月10日(木))>
13:30～13:40 開会挨拶 (近畿中国森林管理局)
13:40～14:20 なぜ今里山広葉樹に着目するのか ー国産広葉樹の需給をめぐる最近の動向からー (森林総合研究所 青井 秀樹)
14:20～15:00 近畿圏中山間地における広葉樹循環利用に向けて
ー森林総合研究所関西支所プロジェクト報告(森林総合研究所関西支所 山下 直子)
15:00～15:10 <休息>
15:10～15:50 近畿中国森林管理局里山広葉樹林活用・再生プロジェクト報告 (近畿中国森林管理局、岡山大学)
15:50～16:10 美作市における里山林整備の取組 (岡山県美作市 小林 靖明)
16:10～16:30 里山林未利用樹種ネズミサシの高付加価値化への取組 (広島県立総合技術研究所 林業技術センター 山場 淳史)
16:30～17:00 総合討論
17:00～17:10 総合討論のまとめ、閉会挨拶 (森林総合研究所関西支所)

<第2部(10月11日(金))>
9:45～9:50 開会、行程説明
9:50～10:30 高齢級里山広葉樹林における素材生産事業現場の視察
10:30～11:00 平成29年度高齢級里山広葉樹林における素材生産事業跡地(天然更新状況)の視察
11:15 閉会

(新見駅前帰着は、正午頃の予定)

※林内に入りますので、安全な服装・装備で御参加ください。

【取材申込み】

取材を希望される場合は、前日までに担当者へご連絡ください。

近畿中国森林管理局 技術普及課 櫻井、平井、青木

TEL：050-3160-6729/6786

FAX：06-6881-2055

メール：kc_fukyu@maff.go.jp

問い合わせ先など

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所関西支所長 大平辰朗

広報担当者：森林総合研究所関西支所 産学官民連携推進調整監 家原敏郎

問い合わせ先：森林総合研究所関西支所 地域連携推進室長 藤原拓也

Tel：075-611-1201(代) Fax：075-611-1207

本資料は、京都府記者クラブに配布しています。